

環境基本計画の進行管理

環境基本計画は、PDCAサイクル(Plan(計画) - Do(実施) - Check(点検・評価) - Action(改善))による進行管理を行うとともに、環境像の実現に向けた継続的改善を図ります。

平成27(2015)年度の取組状況を把握し、環境審議会に報告したところ、以下のとおり助言をいただきました。

■環境審議会による助言

環境基本計画の進行管理（PDCA サイクル）の「点検・評価（Check）」として、「いばらきの環境について（平成 27 年度年次報告書）」を審議会にて検討いたしました。その結果として、審議会からの助言を以下に述べさせていただきます。

1) 北部の山域の自然環境は南部の都市域の環境の保全や防災と密接な関係があります。市域全体のバランスのよい自然環境を保つため、北部区域の開発状況や過疎化の状況をできる限り可視化し、変化を監視し、修復するとともに、南部区域の状況についても現状把握に努めてください。

2) 市民が自然環境の現状を知る機会となる環境教育については、実践につながるような内容を工夫して講座の魅力を高めるとともに、引き続きPRされることを期待します。また現在作成中の茨木市の生物多様性の冊子についても十分に活用されることを期待します。

3) 指標については、全国平均や大阪府平均と比較するなど、市民がイメージしやすい形で示すとともに、指標が極端に悪化している部分については、何らかの対策を記載するよう努めてください。また、数値目標が立てやすい事業については、できるだけ冊子に掲載し、成果をPRすることで、環境行動の推進に努めてください。

4) 市民だけでなく、企業に対しても環境美化活動をはじめ、環境行動への参加の呼びかけを積極的に行い、その取組について紹介するなど、市民・企業・市が連携した取組を引き続き進められることを期待します。

平成 29 年 3 月 21 日
茨木市環境審議会
会長 三輪 信哉